

輪島地区 道路復旧・復興促進協議会（第４回）
議事概要

1. 日時：令和 8 年 7 月 28 日（火）13:30～14:40
2. 場所：輪島市役所本館 4 階 第 2 会議室
3. 出席者：別紙「出席者名簿」の通り
4. 議事：
 - 1) 国道 249 号の復旧について
 - 2) 奥能登の道路通行状況
 - 3) 市道まがき線おさよトンネルの復旧について
 - 4) 県道輪島浦上線の復旧について
 - 5) 県道珠洲里線の復旧について
5. 開会（挨拶：川村会長）
 - ・発災から 2 年と 7 ヶ月ぐらい経ち、被災者の方々は、生活をもう一歩先に進みたいのだが色々な事情があって判断に悩み先に進めない、そういう状況かと思っています。
 - ・被災者の方の生活を戻して頂くためにも我々は公共インフラ、生活インフラの復旧の青写真を示して、復旧事業を頑張ってまいりたいと思います。
 - ・現在の状況は、インフラの本復旧がいよいよ本格化していく段階です。
 - ・私どもも何とか被災者の方に寄り添って、できることを一生懸命やっていきたいと思います。

6. 議事概要

1) 国道 249 号の復旧について

<国土交通省能登復興事務所>

- ・千枚田工区と大川浜工区については、隆起海岸を活用した本復旧を予定。
- ・中屋トンネル工区と逢坂トンネル工区については、今のトンネルを使いながら別線のトンネルを新たに整備する予定。
- ・大谷トンネル・ループ・橋工区については、現道復旧を予定。
- ・中屋トンネル工区の本復旧については、既存の中屋トンネルの活用に加え、土石流のリスクが拭いきれない区間については、トンネル（約 800m）と橋梁（約 200m、約 70m）にて、別線の整備を実施予定。

集落へのアクセスを確保するため、現道の復旧や法面对策も併せて実施しているところ。

新トンネル・新橋梁については、E C I 方式（技術協力業務）を発注しており、近々施工を担当するであろう優先交渉権者が決まる予定。

令和 11 年春までの開通を目指している。

- ・千枚田工区の本復旧については、応急復旧道路に近い線形となる予定。
5 つの地すべりブロックのうち、珠洲側の 2 箇所は既に発注済みであり、現在、伐採等の作業準備を進めている。

また、輪島側の残り 3 つについては、大規模発注になりますので今手続きをしている状況。

令和 11 年春までの開通を目指している。

- ・大川浜工区の本復旧については、「白崎」をショートカットするような平面線形を考えており、現在の応急復旧道路を緩やかに擦り付けるため、大量の盛土工事が発生する。それを円滑に進めるため、遠隔操作や自動・自律運転の実証実験を行っている。

交通を切り回しながら順次整備していくことになるので、皆様には少しご不便をかけることになるが、ご容赦いただきたい。

- ・権限代行区間にある橋梁全 60 橋に対し、被災点検の結果に基づいた復旧工事を進めており、損傷の程度が大きい 4 橋（深見橋、深見新橋、赤崎橋、新橋）については、架け替えが必要と判断している。赤崎橋については仮橋の工事が発注済み、ほか 3 橋については、今後、上下部一体で工事発注をする予定。令和 11 年春までの完成を目指している。

<道路整備課>

- ・架け替え予定の 4 橋について、施工中は迂回路を設ける予定か？

<国土交通省能登復興事務所>

- ・はい。通行止めは困難と想定し、迂回路を設ける予定。

<道路整備課>

- ・架け替え予定の 4 橋以外（56 橋）は架け替えではないのか？

<国土交通省能登復興事務所>

- ・はい。ほか 56 橋は補修で対応する予定。

<川村会長>

- ・迂回路設置に係る仮橋について、安全性をしっかりと確保してもらいたい。

<輪島市>

- ・今のところ、国道 249 号の復旧工事に関する苦情は聞いていない。
- ・国道 249 号は、地元生活に直結する道路なので、一刻も早く復旧をお願いしたい。

2) 奥能登の道路通行状況

<石川県道路整備課>

- ・ 県管理道路では、地震で最大 42 路線 87 箇所、豪雨で最大 25 路線 48 箇所が通行止め。
- ・ 現時点では、地すべりやトンネル崩落などの大規模な被害が発生した 5 路線 8 箇所を除きすべて解消。
- ・ 県道輪島浦上線や、県道五十里深見線の一部については、今年 3 月に通行止めを解除したところ。
- ・ 本復旧については、奥能登 2 市 2 町へのアクセスルートや主要な緊急輸送道路などを優先的に工事発注している。

<川村会長>

- ・ 珠洲里線は現在も通行止めとなっているが、孤立集落はあるのか？

<石川県道路整備課>

- ・ 発災時は複数の箇所で孤立集落が発生したが、国および自衛隊の方々にご協力いただき、孤立集落は解消している。

<川村会長>

- ・ アクセス道路（2 市 2 町）とは具体的にどの路線か？

<石川県道路整備課>

- ・ 県道の七尾輪島線、珠洲道路、穴水門前線および宇出津町野線にて、優先的に工事を発注、復旧を進めている。

<奥能登土木>

- ・ なお、奥能登 2 市 2 町へのアクセスルート以外にも、全般的に復旧を実施している。

<川村会長>

- ・ 本復旧の工期はどのように考えているのか？

<奥能登土木>

- ・ 令和 10 年度までに復旧を完成させることを目標、と考えている。
- ・ ただし、改良復旧（道路の強靱化を図るため復旧にあわせて道路拡幅等を実施）するところは、用地買収が伴うので、令和 10 年度以降も工事が続く予定。

3) 市道まがき線おさよトンネルの復旧について

<石川県道路建設課>

- ・「輪島市道 まがき線のおさよトンネル」については、能登半島地震によりトンネル（延長 1.4km の）本体が被災するとともに、奥能登豪雨により皆月側の坑口付近の地山が崩壊し市道が土砂で埋まる被害が発生した。
- ・トンネル本体の復旧については、昨年度より本格的な復旧工事に着手しており、地山をロックボルトや支保で補強する縫い返し工を本年 4 月に完了させている。
- ・5 月からは、トンネルの底部に設けるインバートコンクリートの復旧に着手しており、今後も引き続き、早期の復旧完了を目指している。
- ・皆月側の坑口部の土石流対策については、令和 6 年 9 月の豪雨により、大きく 3 本の沢から土石流が発生し、坑口付近に厚さ 3m の土砂が堆積するとともに、トンネル内にも土砂が流入し、通行止めとなった。
- ・その後、堆積した崩土の除去や崩落した斜面の応急対策等の作業を進め、昨年 4 月には作業を完了しておりますが、約 7 か月にわたって、通行止めとなった。
- ・被災内容について、現地の水の流れとしては、A L 渓流を流れてきた水が、ボックスカルバートを流下して市道を横断した後、A R 渓流からの水と合流して流下し、更に B 渓流の水とも合流して、もう一度ボックスカルバートにより市道を横断して、流下していく流れになっていた。
- ・奥能登豪雨の際、ボックスカルバートや流路に、渓流を流れてきた大量の土砂や巨礫、流木が、引っ掛かり、閉塞が発生して、路面にあふれだしてきたものと考えられる。
- ・また、巨礫や流木による天然ダムが形成されたことにより、大量の土砂がこの坑口部に堆積したものと考えられる。
- ・対策方針について、3 つの渓流の地形状況に応じて、それぞれ適切な対策を選定している。
- ・AR 渓流については、背面の地形が急峻であるため、不安定土砂の補足が難しいため、流路とボックスカルバートで下流に流下させることとしている。
- ・一方、AL 渓流と B 渓流については、背面の地形が比較的なだらかであり、谷部に治山ダムを整備することで、不安定土砂を補足できることから、谷止工を整備することとしている。
- ・また、いずれの渓流についても、流木を補足できるような構造を検討している。
- ・今後とも、輪島市や農林部局とも連携して、速やかに着工できるよう、引き続き設計を進めていく。

<川村会長>

- ・工事に伴う通行止めなど、規制の状況は？

<石川県道路建設課>

- ・本体の復旧に当たっては、基本、通行止めをしながら施工を進めている。
- ・ただし、迂回路である県道五十洲亀部田線は、冬場の通行がなかなか厳しいため、できる限り早期に（夏場までに）通行止めを終わらせられないか検討しているところ。

<川村会長>

- ・想定以上にトンネルの損傷が大きく、全面的な補修が必要と聞いているが、どうか？

<石川県道路建設課>

- ・一度トンネルの舗装をめくって全線を調べた結果、広範囲で損傷しているのが確認できた。
- ・そのため、補修方法や期間を工夫しながら、冬季の通行確保について、検討していく必要があると考えている。

<川村会長>

- ・冬期の通行確保については、輪島市役所や地元と一緒に考えてもらいたい。
- ・坑口の対策については、土木と農林でそれぞれ整備していくという話でしたが、詳細設計が終われば、すぐに工事着手していくのか？

<石川県道路建設課>

- ・現在、詳細設計を進めているところだが、農林部局の二つの溪流の工事と、土木の工事、トンネル本体の工事がまだまだ続いていくので、今後、それぞれの工事のスケジュールや施工ヤードを調整して、どのような順番で工事を進めていくか検討する予定。

<輪島市>

- ・皆月集落も、かなり高齢化が進んでおり、「現道の県道五十洲亀部田線の冬季通行は怖い」という声を聞いていることから、冬季通行に向けた対策の検討をお願いしたい。
- ・輪島市も市道まがき線について災害復旧工事を予定しているため、密な連絡をお願いしたい。
- ・また、詳細設計を実施している箇所において、技術的な相談をお願いしたい。

4) 県道輪島浦上線の復旧について

<石川県道路建設課>

- ・下山から浦上までの区間は、昨年度より順次、浦上、上大沢、大沢、下山の各工区において本復旧工事を進めている。
- ・鶴入～下山までの区間は、大規模崩落により通行出来ない状況となっている。まずは、応急復旧として、現道を活用した仮設道路を整備しており、今年度内の完成を目指して工事を進めている。
- ・本復旧としては、別ルートでトンネルを建設することとしており、これまでに現地の調査を概ね完了し、現在、設計を進めている。
- ・新しいトンネルは、危険な地すべりを避けたルートとして、約2kmの長大トンネルとなる見込みで、縦断勾配も約4%と比較的緩やかなルートとなる見込み。
- ・今後も、引き続き、仮設道路の整備とともに、本復旧であるトンネルの早期着工に向けて、設計を進めていく。

<輪島市>

- ・地元はこの計画について、非常に喜んでいる。
- ・ただし、「仮設道路について、何とか地元住民が使えるようにしてほしい」という声を聞いている。仮設道路の安全性を高めて、地元住民が通れるようにお願いしたい。

<石川県道路建設課>

- ・進捗状況をみながら、通れるタイミングが早まれば、地元にお知らせしたい。

<川村会長>

- ・災害復旧については、常に地元住民に寄り添うことが大事。
- ・仮設道路については今年度中の完成が目標との説明があったが、本復旧についてはどうか？

<石川県道路建設課>

- ・県道輪島浦上線については、改良復旧を実施予定のため、復旧完了の時期については未定。

<川村会長>

- ・私は、液状化対策に係る委員会の委員長も行っているが、金沢市の液状化対策の進捗は極めて順調で全国的にもロールモデルとして注目されている。
- ・同様に、道路復旧の方法や時期等の計画、青写真を早期に示すことで、被災者の方や市町自治体には色々な工夫が生まれると思う。国、県の道路インフラ復旧はスピード感をもって進めて頂きたい。

5) 県道珠洲里線の復旧について

<石川県道路建設課>

- ・珠洲里線については、西側工区・東側工区ともに、大規模な道路崩落が多数発生したため、両工区ともに別ルートでの復旧を進めている。
- ・昨年秋にルートを決定し、これまで、現地の測量及び設計作業を進めてきた。
- ・西側工区は、県道柳田里線と金蔵川西線の現道を活用し一部をトンネル区間として設計を進めており、今年度内の設計完了を目指している。
- ・中間工区は、町野小学校、東陽中学校の前を通る輪島市道の現道を活用して設計を進めており、こちらも今年度内の設計完了を目指している。
- ・東側工区は、寺山集落へ接続する輪島市道の現道を活用するとともに、山地部となる市境から若山ダム付近の珠洲里線の現道までをトンネル区間とするルートとして設計を進めており、一部の構造物を除いて、大半の設計作業の完了を目指している。
- ・これらの工区は、国交省さんの町野川・鈴屋川の復旧や、砂防事業、農林の圃場整備事業等との調整のほか、地元の皆様の用地のご協力が必要であり、調整や準備ができた箇所から順次、工事に着手していきたいと考えている。

<川村会長>

- ・設計を進めているという説明だが、工程はどのように進んでいくのか？

<石川県道路建設課>

- ・現在、今年度末の設計完了がみえてきたということで、ルートが概ね決まったという状況。
- ・今後、地元の詳細な説明をしながら進めていきたい。

<川村会長>

- ・地元は大体の計画は知っているのか？

<輪島市>

- ・国や県が適時、地元の説明してくれている。
- ・国、県、市が入り乱れて調整し復旧復興を進めていかなければならないエリアということで、引き続き、地元の皆さんに話をしながら、出来る限りスピード感をもって工事着手をお願いしたい。

<川村会長>

- ・整備後の珠洲里線現道はどうするのでしょうか、その管理などしっかりと考えていかなくてはならない。
- ・また、集落へのアクセス確保をよく考えてください。

<国土交通省能登復興事務所>

- ・鈴屋川について、令和7年の出水期までに応急復旧を完了。
- ・寺地川、牛尾川については、仮設のコンクリート堰堤やワイヤーネット工等の応急対策を実施した結果、令和7年8月の大雨の際にも一定の効果を上げている。
- ・河川については、護岸の本復旧を実施中であり、河道掘削等の改良工事を含め、令和10年度末までの完了を目指す。
- ・砂防工事については、寺地川、牛尾川の最下流の砂防堰堤を整備中であり、令和11年度末までに流木捕捉工や溪流保全工を含めた恒久対策の完了を目指す。
- ・鈴屋川上流の整備については、県道珠洲里線の復旧計画と調整を図りながら、施設設計や仮設計画を検討中。

6) その他

<国土交通省能登復興事務所>

- ・ 国道 249 号の新橋から高州園にかけて、舗装補修を近々実施予定。
- ・ 比丘尼沢ポケットパークに新たに快適トイレを設置した。

<輪島市>

- ・ 輪島市の復旧・復興については、復興まちづくり計画において市街地に位置づけられたエリアに分けて、復興をどんどん進めていきたいと思っている。
- ・ より効率的かつ効果的な事業推進を図ることを目的に E C I 方式を採用し、プロポーザルを実施した結果、先日、契約候補者（施工予定者）が特定されたところ。